

それ鳳鳴でしか、できひんで!!

篠山鳳鳴高等学校



Instagram

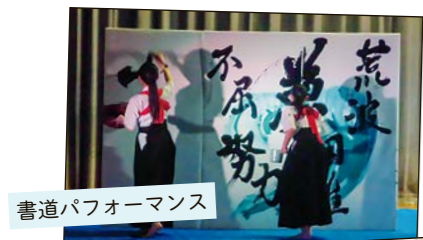


ホームページ

市内の進学拠点校としての役割を担う篠山鳳鳴高等学校。すべての生徒が、丹波篠山の地域課題などを探る探究活動を通し、主体的な学びに挑戦している学校です。

今年からは新たに単位制の「STEAM探究科」がスタートし、最先端の技術を活用しながら、これからの新しい時代に必要なスキルについて学んでいます。また、2025年度の新入生から順次、単位制を導入。自分の興味や関心に合わせて履修科目を決めることができます。

篠山鳳鳴高校は勉強だけでなく、部活動も盛んです。現在、運動部14部、文化部15部が、熱心に活動しています。中でも、男子バレーボール部は丹有1部優勝、ソフトボール部は柏原・篠山産業高校との合同チームで、丹有・但馬地区新人大会で優勝しています。ほかにも、インテーク部が観光ガイドを務めたり、デカンショバンドとして演奏を披露したり、書道部がイベント時に書道パフォーマンスを披露したりするなど、積極的に活動しています。



書道パフォーマンス



体育祭応援合戦



探究発表会1

おいでよわが校へ！
一緒に思い出を作ろう



探究発表会2



デカンショバンド

2年=宮脇琉希さん、富山嘉恵さん、石橋彩花さん、吉川颯太郎さん(後列左から)
2年=峯崎愛さん、瀬戸さく良さん、堤彩輝さん(前列左から)

卒業生に聞く母校のよいところ



川上拳さん

現在、北海道で畜産業を支えるために臨床獣医師として働いています。在学中、生徒会長として、鳳鳴祭(文化祭、体育祭)、デカンショバンドの継承など、仲間と築いた時間や経験は、卒業後の大学でも生かされ、充実した学生生活を送ることができました。大学受験に向けても切磋琢磨し、真剣に楽しみ取り組める同級生に囲まれ、大きな目標を達成することができました。篠山鳳鳴高校での友人や恩師との出会いこそ、かけがえのないものです。学生の皆さん、さまざまなことにチャレンジして、学生生活を楽しんでください。

在校生が語る！学校の魅力



2年 柘谷萌愛さん

篠山鳳鳴高校は何事にも全力で取り組める学校だと思います。勉強面では自習スペースが備えられ、集中できる環境が整えられていますし、部活動も盛んで、学校行事も充実しています。また、過ごしやすい環境をつくろうと、校則の改定も積極的に進めています。今年は放課後にスマートフォンが使用できるようになり、今は「制服の着こなし方」について議論しています。皆さんも、私たちとともに進学をめざしながら、充実した高校生活を送りましょう。

進路実績(過去3年分主なもの)

進学

- 【国立大】大阪大学、神戸大学、岡山大学、大阪教育大学、兵庫教育大学など
- 【公立大】大阪公立大学、兵庫県立大学、福井県立大学、島根県立大学など
- 【私立大】早稲田大学、関西学院大学、関西大学、同志社大学、立命館大学、京都産業大学、近畿大学、甲南大学、龍谷大学、大阪工業大学、武庫川女子大学など

就職

丹波篠山市役所、西日本旅客鉄道(株)、三田ダイハツトヨタ販売(株)など



2年 竹村悠生さん



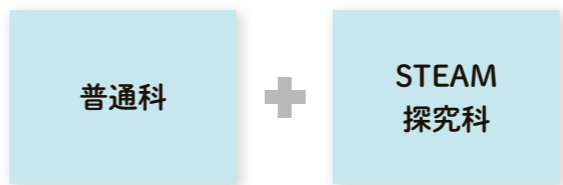
2年 亀山桂香さん

市内3高校の 特色・魅力・強み

— 丹波篠山でできること —

現在、市内には「篠山鳳鳴高校」「篠山産業高校」「篠山東雲高校」の3つの高校があります。今月号では、今一度、市内高校の特色や強みを紹介し、その魅力を再確認します。

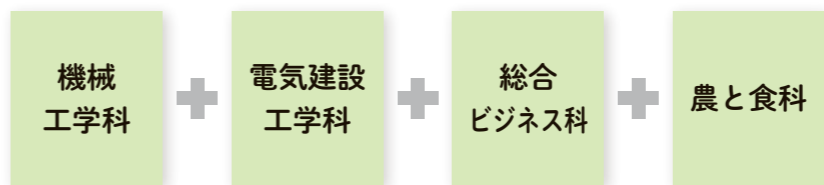
問い合わせ 教育総務課 ☎552-5709



今年度から、単位制の学科「STEAM (STEAM) 探究科」を新設し、新たな篠山鳳鳴高校としての第一歩を踏み出しました。STEAM教育は、科学(S)、技術(T)、工学(E)、アート(A)、数学(M)の5つの分野の学びを融合させながら、今後の社会に順応した人材を育成します。ドローンやVR(仮想現実)ゴーグル、3Dプリンター人工知能(AI)など、最新の技術の活用やさまざまな体験を通して、生徒たちの探究心を刺激し、自ら学ぶ意識を芽生えさせます。



篠山鳳鳴高等学校



4つの学科で構成された第2学区唯一の産業高校です。ものづくりに必要な専門知識と技術を学ぶ「機械工学科」、地域のインフラを支える人材を育成する「電気建設工学科」、ビジネスに必要な知識や技術を学ぶ「総合ビジネス科」、農業と食糧について学ぶ「農と食料」があります。どの科も専門性が高く、実習を中心とした体験型授業が行われています。豊富な分野の中から自分の将来の夢を見つけることができる多様性のある高校です。



篠山産業高等学校



篠山東雲高等学校は農業に関する知識や技術はもちろん、食品製造や加工・販売までを学べる市内唯一の農業高校です。1年生では農業全般の内容を幅広く体験し、2年生では3つの類型の中から自分で選んだ専門分野を学びます。3年生ではより実践力が必要とされる現場実習や、課題研究などに取り組みます。来年度からは、「アグリプロダクト」類型「バイオサービス」類型の2類型体制となり、新たな東雲高校として、魅力的な教育活動を展開します。



篠山東雲高等学校



「農」から学ぶ育てる力、育つ力 地域に根を張り、未来を拓く篠山東雲

篠山東雲高等学校



学校紹介
動画



ホーム
ページ

篠山東雲高等学校は、黒大豆などの農作物や草花の栽培をはじめ、収穫した食料を用いて食品加工・販売の体験、またウシ・ヤギなどの動物の飼育管理など、農業のすばらしさや命の大切さを学び体験できる学校です。

また、地域の方たちとの積極的な交流を通して、さまざまなことに挑戦しています。育てた枝豆を使って地域のイベントで販売したり、地元の酒造会社と連携して酒づくりを行ったりするなど、ふるさとの活性化に貢献できるよう努めています。それ以外にも、校内でふれあい動物園を実施し、園児たちにもふれあいの機会を提供するほか、牛の飼育を学び、肥育牛の品質を競う県畜産共進会に出場するなど、特色ある教育活動にも取り組んでいます。



食品製造実習



田植え実習



ドローン講習会

おいでよわが校へ！
一緒に思い出を作ろう



動物の飼育実習



1年=増田奏さん、2年=山中ひなたさん、
1年=横山光喜さん(写真左から)



酒造会社との連携

卒業生に聞く母校のよいところ



長澤颯希さん

篠山東雲高校はのびのびと学習ができる学校です。コンテストなどにも積極的に参加し、これまで体験できなかったことを経験することができました。パンコンテストに出場したことや、自然科学部として外来生物駆除活動や獣がい対策などでたくさんの知識を得ることができたのはよい思い出です。高校に入学して、初めてのことに挑戦する楽しさややりがいを知ることができました。在校生の皆さんもいろいろなことに挑戦してください。応援しています。

在校生が語る！学校の魅力



2年 山中ひなたさん

篠山東雲高校では、一人一人にスポットライトが当たる機会が多く、自信がつかますし、自分を成長させてくれる学校です。少人数ならではの行き届いた授業が受けられ、先生と生徒の距離も近く、なんでも相談することができます。また、自分たちがつくったものが形となり、収穫できたときは達成感もあり、この瞬間は農業高校でしか味わえないものです。自分自身を成長させてくれる東雲高校で楽しい高校生活を送ってみませんか。

進路実績(過去3年分主なもの)

進学

島根大学、弘前大学、甲子園大学、吉備国際大学、産業技術短期大学、兵庫県立森林大学校、兵庫県立農業大学校、神戸動植物環境専門学校、神戸医療福祉専門学校など

就職

ケンミン食品(株)、オーリス(株)、黄桜(株)、相互印刷(株)岩崎電機製作所、和寿園、丹波ささやま農業協同組合、パナソニックライティングシステムズ(株)、クリヤマジャパン(株)、(株)ベルシステム24神戸ソリューションセンター、(株)ロピアなど



1年 増田奏さん



1年 横山光喜さん

世界を切り拓き、イノベーションを担う4つの学科

篠山産業高等学校



学校紹介
動画



ホーム
ページ

篠山産業高等学校は、「スペシャリスト」と「地域を担う人材」を育む学校です。実習を中心とした体験型授業で、生徒たちの個性を存分に伸ばし、一人ひとりの可能性を広げる取り組みを実践しています。どの科も専門性が高く、専門的な知識が得られる設備環境が整えられています。そのため、取得できる資格も豊富で、国家資格の取得や高度な検定資格に挑戦することができます。

産業高校は地域とのつながりを大切にしているのが特徴で、園児たちと稲刈り体験を通じて交流を深めたり、校内で栽培した花や野菜などを農場で販売したりするほか、公園整備で東屋を製作したり、12月にJR篠山口駅前を彩る竹あかりを作製したりと、地域を学習のフィールドとしても活動しています。

また、4科の部活動があることも特色で、機械研究部、農業研究部、商業研究部、電気研究部、都市工学研究部が授業で学んだ知識や技術を生かして活動しています。



機械工学科



農と食料



総合ビジネス科



産高フェスティバル



電気建設工学科

2年=芦田成輝さん、細見莉央さん、
井本愛一さん、木村想さん(写真左から)



おいでよわが校へ！
一緒に思い出を作ろう

卒業生に聞く母校のよいところ



永井流星さん
関西大学

高校では、3年の課題研究で東屋を建てたことが一番の思い出です。私にとって一つの建築物ができていく過程に携わったことは、建築の楽しさと達成感を実感できる経験となりました。産業高校では、普通科より3年早く自分の夢への勉強に取り組みすることはもちろん、大学に行く人でもこの3年で培った知識は、確実に生かせるものです。産業高校での学びは、勉強以外にも社会に必要とされる1人の大人として、人生の財産になるのだと痛感しています。

在校生が語る！学校の魅力



2年 細見莉央さん

産業高校では、進路の実現に向けてさまざまな資格や検定にチャレンジできます。試験の前には、合格した先輩が教えてくれたり、先生が補習を開いてくれたりと手厚いサポートで、多くの資格を取得することができます。また、学校行事には、学科の特色を生かした模擬店のある人気の産高フェスティバルや、学科対抗で盛り上がる体育祭などがあり、仲間の絆が一層深まります。皆さんも夢をかなえるため、産業高校でがんばってみませんか。

進路実績(過去3年分主なもの)

進学

長崎県立大学、福知山公立大学、福井大学、関西大、関西学院大学、同志社大学、京都産業大学、近畿大学、神戸学院大学、大阪工業大学、丹波市立看護専門学校、兵庫県立農業大学校、神戸製菓専門学校、履正社国際医療スポーツ専門学校など

就職

丹波篠山市役所、兵庫県警、日本郵便(株)、日本チバガイギー(株)、(株)中井工務店、(株)小田垣商店、沢井製薬(株)、(株)モリタ、三菱重工業(株)、関西電力(株)、トヨタ自動車(株)など



3年 足立大和さん



3年 谷口明衣さん(左)、足立琴音さん

地域の未来を考える場に活用！



① ふるさと住民交流会(栗栖野自治会)
栗栖野では交流会の中で村の課題などを話し合う場が設けられました。高齢化に伴う自治会活動の不安や、新たな住民が増えていることによる交流イベントを望む声など、活発な意見交換が行われました。

伝統行事や地域イベントに活用！



② 南新町納涼の集い(南新町自治会)
食事、射的や輪投げ、ビンゴ、ドラゴン花火などが楽しめる交流行事を5年ぶりに開催。子供会、壮青年世代の有志の会、シルバークラブなどが準備委員会を立ち上げて協議し、飲食店を招いて地元負担を軽減した形で実施されました。

新たな交流の場の創出に活用！



④ オール川原づくり～親睦と交流～(川原自治会)
地域の祭りを継承していくために、住民同士で交流できる場を開催。昔から住んでいる住民や移住者以外にも、移住を検討している人も参加され、約40人が集まりました。参加者はバラバラに席が振り分けられ、交流とバーベキューを楽しみました。

地域のお宝を知る機会に活用！



⑥ ホテル観察会(小坂自治会)
約60人が参加したホテルの観察会。小坂では約30年前から田植え終わりに労をねぎらうために行っていました。市職員によるホテルの説明やクイズで理解を深め、ホテルが舞う幻想的な光景を楽しみました。※補助金の活用はなし。

③ 乳業祭り住民交流会(北自治会)

子どもも若い方もみんなが参加しやすいように、今年から「乳業祭り(医王寺)」に合わせて交流会も開催されました。約50人が参加し、カレーや米粉菓子のキッチンカー、大人気の餅まきなどでにぎわいを見せました。



⑤ 大学生との農業交流事業(後川新田原自治会)

若い世代に農業の現状を伝え、考えてもらう一つのきっかけづくりに、また、農業の負担軽減のため、関西学院大学の学生と農業を通じた交流を行いました。学生は「普段できない体験で参加できてうれしい」と黒枝豆の定植を楽しみました。



⑦ コスモスマルシェ(今田町今田自治会)

十数年前から栽培されている白いコスモス畑を開放し、今田コスモスマルシェを開催しました。当日は好天に恵まれ、市外の方や市内在住の外国人の方も含め約250人の来場者が、珍しい白いコスモスやモルック体験を楽しまれ交流を深めました。



市では、令和5年度からワクワク農村創生補助金事業を始めました。昨年度は7自治会、本年度は53自治会(10月現在)の合計60自治会が補助金を活用し、ワクワクの取り組みが広がってきています。しかし、まだまだ補助金を活用されていない自治会は多くあります。令和6年度に実施されたワクワクする取り組みを紹介するので、ぜひ地域で考えるきっかけにしてください。

地域おこし協力隊の稲田です！



ワクワク農村推進担当 稲田希律子さん

ワクワク補助金を活用された自治会の方からは、「交流会では集落を出ている若者や子どもたちも集まり、親睦を深めることができた。住民の方からは『とても楽しかった』と言ってもらえた」とご意見をいただきました。事業を実施するにあたって、準備などの負担が大きいといった声も聞きますが、既存の事業であっても、ワクワク補助金の趣旨などに合致するものは、補助の対象となりますので、ぜひ、前向きに検討いただければと思います。

市ホームページでは、この他にも、事例を紹介していますので、あわせてご覧ください。

最後になりますが、ワクワク補助金のことで、分からないことや気になることがあれば、気軽に地域振興課までお尋ねください。補助金の活用に向けて、精一杯、力添えます。

ワクワク農村創生補助金とは？

この補助金事業は、丹波篠山に住む幸せを実感できるよう、ワクワクする農村をめざす取り組みを支援するものです。補助金額は上限10万円で、1自治会1回限り活用できます。この補助事業は、令和7年度で終了予定ですので、活用について地域で話し合ってください。前向きにご検討ください。

活用事例

ワクワク制度概要

— 地域別問い合わせ先 —

● 篠山、八上、畑、城北、岡野 (市役所第2庁舎1階)	☎552-5112
● 日置、後川、雲部(城東支所)	☎556-3111
● 福住、村雲、大芋(多紀支所)	☎557-1161
● 西紀南、西紀中、西紀北(西紀支所)	☎593-1111
● 大山、味間、城南、古市(丹南支所)	☎594-1131
● 今田(今田支所)	☎597-3111